

⑥尾張川

i 整備方針

【環境・景観】尾張川は、大和高田市から広陵町を流下し、高田川に合流する河川である。川沿いには農地が広がっており、集落が点在している。河川の整備を行う際は、みお筋の形成や水際の植生の回復に努める。

【利用・利水】取水施設や取水量の把握に努め、継続的に水質や水量の把握に努める。なお、尾張川の川沿いには田園地帯が多く、これまで親水公園等の整備は行われていない。

【治水】大和高田市の浸水被害を軽減するため、広陵町安部から大和高田市神楽の中和幹線までの区間については、川幅が狭小なことから洪水を流下する能力が著しく不足し浸水被害が発生しているため、現況の河道法線と平行するバイパス水路の開削を計画的に進める。

中和幹線より上流の国道165号までの区間については、大和高田市の都市下水路の計画と整合を図る必要があるため、整備手法等について調査・検討を進める。

ii 河川工事の目的

概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨の洪水を安全に流下させるとともに生物の生息環境を保全する。

iii 河川工事の種類

現況の河道法線と平行するバイパス水路を開削する。

中和幹線から国道165号の間の整備手法については調査検討を行う。

iv 河川工事の施行の場所

広陵町安部地内から大和高田市池尻地内

(高田川合流点より約2.0km地点から中和幹線 約500m バイパス水路の開削)

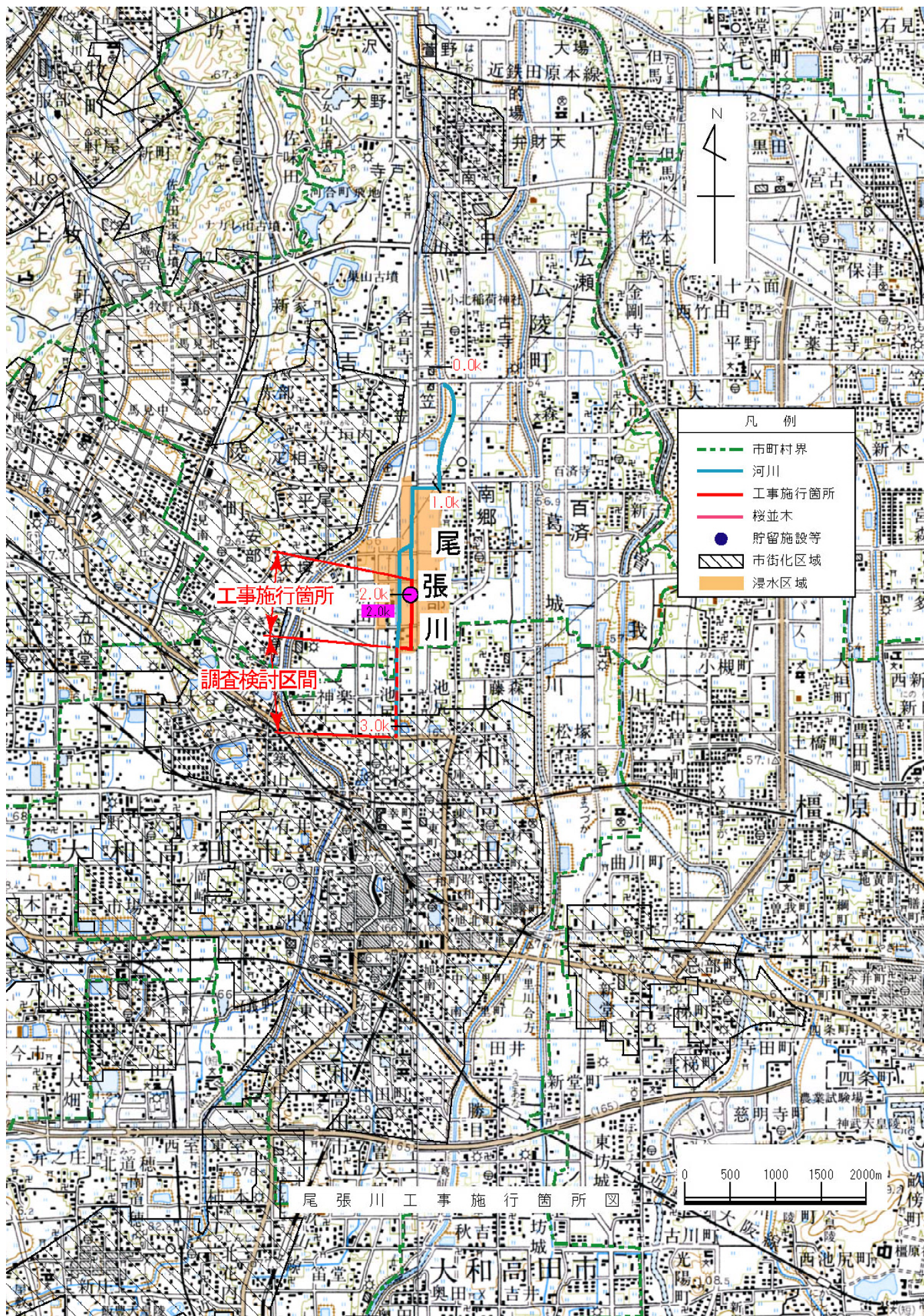
大和高田市池尻地内から大和高田市神楽地内

(中和幹線から国道165号 調査・検討)

施行区間内の主な既存工作物

橋 梁	2 橋
取 水 堰	一 基





※浸水区域は、過去の主要洪水による浸水実績を重ね合わせたものです。